

広報クリニック ＜キャッチコピー編＞

“キャッチコピーを考える際に 必要な2つのこと”

キャッチコピーを考える際に重要なのは、**対象の人の気持ちにどれだけ近づけるか**ということです。誰がどのようなことに関心を持っているのか、あるいは必要だと思っているのか、いま一度しっかりイメージしてみましょう。

1) 悩みや課題の解決に繋がるコピーに！

人は悩んでいることや気になっている情報を、無意識の内に集めてしまうといいます。悩みや課題を解決してくれそうなコピーは、とても魅力的なはずですが、

参加や利用をすることで得られるメリットを具体的にイメージできるかがカギとなります。対象の人たちに響きそうな言葉や単語をまず集めてみましょう。

2) 具体的な数字や実績を入れてみる！

数字は視認性が上がり、記憶にも残りやすくなります。数字が具体的であるほどイメージが湧きやすくなり、信頼性も高くなります。ほかにも資格や実績があるなら、積極的に使ってみましょう。



「やめる」ことは 悪いことではない

「相談支援」の中で、メンバーの高齢化や活動の行き詰まりによる「団体の解散」についての相談に出会うことが最近多くなりましたが、ほとんどの相談者が解散に対して何らかの不安を持っています。「もったいない」「まだやれる」という声が、解散を決断しにくい環境をつくっているものと考えられます。

また「企画」の記事に関連しますが、事業や活動を「始める」「増やす」よりも、「やめる」「減らす」

ほうが難しいとされています。継続を希望する人への説得が負担になる場合や、「後退」というイメージがあることなどが、ハードルを上げる要因になっているようです。

しかし、行き詰まりの中で継続にこだわり過ぎるとやる気が低下し、やるが増える一方だといずれは疲弊を招くこととなります。

つまり、「やめない」ことの弊害がより大きいのであれば、やめたほうが良い場合もあるということです。そして、そのときには次につながる「やめ方、終わり方」も併せて考えたいですね。

まちづくり支援室は、 住民活動を支援し、志免町と町民の皆さんで協働したまちづくりをすすめるために設置された施設です。専門のコーディネーターを配置し、NPOやボランティアに関する情報を発信するとともに住民活動に関する相談やアドバイスをしています。



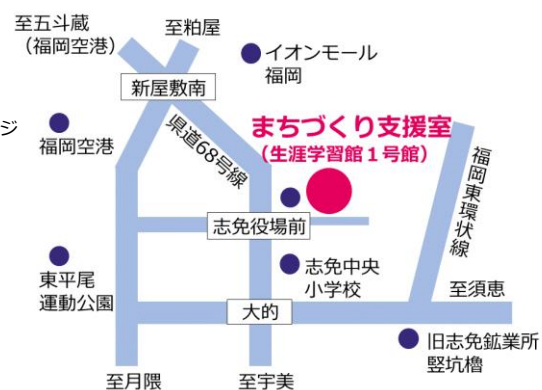
▼ボランティア受け入れ講座のお知らせ

日時／平成 31 年 2 月 15 日(金)13:30～15:30
場所／生涯学習館 1 号館 2 F 中研修室 1
定員／20 名
参加費／無料
※詳しくは支援室までお尋ねください。
チラシは志免町HPでも確認いただけます。

★次号<Vol.21>は2019年3月発行予定です。



▲公式ホームページ



- 発行 志免町まちづくり支援室
- 発行日 平成 30 年 (2018 年) 12 月 28 日
- 編集 NPO 法人ミディエイド
- 住所 〒811-2244 福岡県糟屋郡志免町志免中央 1-3-2 (生涯学習 1 号館内)
- TEL 092-936-8626
- FAX 092-936-8626
- E-mail collabo@town.shime.fukuoka.jp
- 開室時間 9:00～17:00 (火曜・木曜・土曜)
9:00～21:00 (水曜・金曜)

The 志免町 まちづくり 支援室 2018.12.28

Vol.20

＜本号の内容＞

- 【支援室レポート】相談対応について
- 【取り組み紹介】企画の立て方
- 【団体活動情報】NPO法人スペース deGUN² / 志免清龍隊
- 【広報クリニック】キャッチコピー編



【支援室レポート】相談者と共に考える ～相談による支援～

▼さまざまな相談が寄せられます

まちづくり支援室では、これから活動を始めたい、メンバーを増やしたい、活動資金の確保に苦慮している、などのさまざまな相談に対して、専門のコーディネーターが対応しています。

＜case1＞助成金を獲得し活動の幅が広がった

活動に必要な備品を購入する資金確保についての相談。住民活動における資金確保の方法はさまざまありますが、このケースでは、条件に該当する民間助成金の情報収集や応募書類の書き方についてサポートしました。

＜case2＞安心して活動をスタートできた

ボランティアをしたい、という相談に対し、本人の希望と実際の活動とを照らし合わせながら一緒に活動を探しました。丁寧にヒアリングを行い団体につなぐことで、当初の希望と見学時のギャップが小さくなり、スムーズに活動を始めることができました。



▲出張相談の様子

▼「出張相談」もあります

まちづくり支援室の登録団体については、団体が指定する場所にコーディネーターが出向く出張相談も受けます。活動場所を離れられないときなどに利用できます。

＜case3＞ミーティングがうまくいかない

「話が脱線して先に進まない」「協議してもなかなか結論が出ない」という相談があり、コーディネーターが同席して情報整理をサポートしながら、会議の進め方や情報整理のポイントを伝えました。



▲会議での情報整理の様子

まちづくり支援室では、相談者へのアドバイスよりも「一緒に悩み、考える」という姿勢を大切にしています。相談者自身が気づき、解決への道を見出すことができる相談を心がけていきたいと思っています。